２０１１．１０　第１０号
産業医・産業看護職・衛生管理者等の産業保健関係者の活動を支援します。

産業保健

こうちさんぽ ニュース

☆　トピックス　１頁
☆　研修会・セミナー等のご案内(平成２３年１０月～２月開催分)　２頁
☆　研修会・コミュニケーション技術（４回シリーズ）ご案内　２頁
☆　ワークショップ・交流会ご案内（高知障害者職業センター共催）　３頁
☆　事業者のための南海地震対策セミナーご案内（高知労働基準監督署・高知労働基準協会共催）　３頁
☆　研修会ご案内（高知労働基準監督署共催）　３頁
☆　研修会ご案内（幡多地区）　３頁
☆　研修会ご案内（安芸地区）　３頁
☆　労働衛生工学シリーズ　４頁
☆　メンタルヘルス対策支援センターだより　４頁
☆　産業保健に関する相談のご案内　５頁
☆　研修会申し込み書　６頁

独立行政法人労働者健康福祉機構

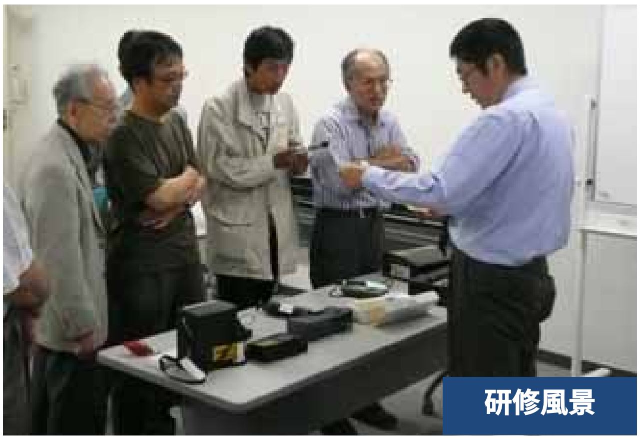
高知産業保健推進センター

トピックス

トピックス　その１

「オフィスにおける作業環境・作業方法の管理」の研修会を開催

平成２３年６月９日（木)、当センターにおいて、上記研修会を行った。事務所には「事務所衛生基準」が適用され空気等の基準が定められています。職場巡視の際のポイントになる項目を説明し、実際に機器を扱いながら測定や評価方法を紹介しながら行った。参加者からは、初めて機器等の説明を聞くことができたので大変有意義な研修であったと意見を戴いた。



研修風景

トピックス　その２

「事業場訪問による職場巡視」を開催

平成２３年６月２３日（木)、㈱垣内様の協力を得て、工場内の職場巡視(騒音計・風速計等)による測定実演等を行い、ビデオ等により会社概要説明後、参加者によりディスカッション、まとめ、発表等を行った。参加者からは「全く知識のない産業現場は初めてなので、今後の産業保健活動に有用である」旨の評価をいただきました。

研修風景

トピックス　その３

「職場の腰痛対策・メンタルヘルス対策のすすめ方」の研修会を幡多地区で開催

平成２３年７月２５日（月)、中村地区建設協同組合会館において、四万十労働基準監督署と共催にて上記研修会を行った。「腰痛対策」では特定業種に限らず、さまざまな業種で腰痛が発生し、腰痛を防ぐための作業管理、健康管理等についての説明があった。「メンタルヘルス対策」では、指針の概要及び取り組みについての説明が行われた。参加者からは、現在職場に関係している２点の研修が受講でき、大変参考になったとの評価を戴いた。

研修風景

二・① 研修会・セミナー等のご案内（平成２３年１０～２月開催分）

産業保健スタッフや事業主・従業員などどなたでも参加できます。
((1)～(9)　場所：高知フコク生命ビル８階　　定員：各３０名)
((10)　場所：高知鏡川病院睡眠医療センター(高知市城山町)　　定員：２０名)

【対象者（A：産業医　B：産業看護職　C：衛生管理者・その他)】

(1)10月19日(水)　14：00～16：00　「職場におけるたばこ対策」
講師：メンタルヘルス担当相談員　久保田　聰美　氏
対象者：A・B・C　　産業医取得単位：生涯専門２単位

(2)10月21日(金)　13：30～15：30　「職場で多いメンタルヘルス不調」
講師：メンタルヘルス担当相談員　伊藤　高　氏
対象者：A・B・C　　産業医取得単位：生涯専門２単位

(3)11月11日(金)　14：00～15：30　「健康教育の効果的なアプローチ」
講師：保健指導担当相談員　小澤　若菜　氏
対象者：B・C

(4)11月17日(木)　18：30～20：30　「じん肺症の画像診断～石綿による健康障害を含めて」
講師：産業医学担当相談員　町田　健一　氏
対象者：A　　産業医取得単位：生涯実地２単位

(5)11月18日(金)　13：30～15：30　「メンタルヘルス休業者の職場復帰～精神科医の立場から」
講師：メンタルヘルス担当相談員　伊藤　高　氏
対象者：A・B・C　　産業医取得単位：生涯専門２単位

(6)11月24日(木)　18：30～20：30　「摂食障害の病態と治療」
講師：メンタルヘルス担当相談員　宮崎　洋一　氏
対象者：A・B・C　　産業医取得単位：生涯専門２単位

(7)12月8日(木)　14：00～16：00　「職場における化学物質管理～MSDSの活用」
講師：労働衛生工学担当相談員　門田　義彦　氏
対象者：A・B・C　　産業医取得単位：生涯専門２単位

(8)1月12日(木)　14：00～15：30　「健診結果を生かすために～職場の健康管理から～」
講師：保健指導担当相談員　五十嵐　惠子　氏
対象者：B・C

(9)1月19日(木)　14：00～16：00　「精神疾患とその対応関連（タイトル未定)」
講師：メンタルヘルス担当相談員　山﨑　正雄　氏
対象者：A・B・C　　産業医取得単位：生涯専門２単位

(10)2月4日(土)　14：00～16：00　「睡眠時無呼吸症候群の診断と治療の実際」
講師：メンタルヘルス担当相談員　川田　誠一　氏
対象者：A　　産業医取得単位：生涯実地２単位
定員：２０人　　場所：高知鏡川病院睡眠医療センター

二・② 研修会・コミュニケーション技術(４回シリーズ・１回は 9/28 開催)

定員まで残りわずかとなっております。ご希望の方はお早めにお申し込みください。
【対象者（産業看護職・衛生管理者・その他)】
(場所:高知フコク生命ビル８階　　定員：(1)１８名　(2)(3)２０名)

(1)10月26日(水)　14：00～16：00　「基礎編(積極的傾聴法②)」
講師：当センター相談員　槇本　宏子　氏
(2)11月30日(水)　14：00～17：00　「応用編(ソリューションフォーカストアプローチ①)」
(3)12月14日(水)　14：00～17：00　「応用編(ソリューションフォーカストアプローチ②)」
(2)(3)講師：四国SFA研究会高知支部精神保健福祉士　猪野　久子　氏

二・③ ワークショップ・交流会 (共催：高知障害者職業センター)

【対象者（産業看護職・衛生管理者・その他)】
(場所：高知フコク生命ビル８階　　定員：１５名)

(1)12月13日(火) 14：00～16：00 「復職支援ワークショップ」
(2) 2月 8日(水) 14：00～16：00 「職場メンタルヘルス交流会」

二・④ 事業者のための南海地震対策セミナー (共催：高知労働基準監督署・高知労働基準協会)

【対象者（産業看護職・衛生管理者・その他)】
(場所：高知県立県民文化ホール・グリーンホール　　定員：５００名)

10月24日(月) 13：30～16：30
・「災害時のこころのケア　～東日本大震災の支援を通して～」
　講師：高知県立精神保健福祉センター所長、医学博士　山﨑　正雄　氏

・「地震対策の予備知識　～その時あなたは100秒間　冷静に行動できますか？～」
　講師：小松建設（株）常務取締役、一級建築士　和田 義幸　氏

・「南海地震における津波対策　～東日本大震災を受けて～」
　講師：高知大学理学部災害科学講座、理学博士　教授　岡村　眞　氏

二・⑤ 研修会 (共催：高知労働基準監督署)

【対象者（産業看護職・衛生管理者・その他)】
(1)11月 1日(火) 13：30～15：30 場所：本山町プラチナセンター（長岡郡本山町）
(2)11月 8日(火) 14：00～16：00 場所：高知ぢばさんセンター（高知市布師田）
(3)11月15日(火) 14：00～16：00 場所：高知ぢばさんセンター（高知市布師田）
・「職場の腰痛対策」　講師：当センター相談員　門田　義彦　氏
・「メンタルヘルス対策のすすめ方」　講師：当センター相談員　小松　律　氏

二・⑥ 研修会（幡多地区）

【対象者（産業医・産業看護職・衛生管理者・その他)】　定員：３０名
(場所：中村地区建設協同組合(四万十市右山元町３丁目３-２６))

11月28日(月)13：00～15：00
・「メンタルヘルス(働く人の心の健康)」　講師：当センター地域担当相談員　清谷　知郎　氏
・「労働安全衛生法と衛生管理」　講師：当センター相談員　門田　義彦　氏
　産業医取得単位：生涯専門各１単位

二・⑦ 研修会（安芸地区）

【対象者（産業医・産業看護職・衛生管理者・その他)】　定員:各３０名

(1)10月27日(木)13：30～15：30
・「労働安全衛生法と衛生管理」　講師：当センター相談員　門田　義彦　氏
・「職場のメンタルヘルス～復職支援の取組み方～」　講師：当センター相談員　小松　律　氏
　産業医取得単位：生涯専門各１単位
　場所：安芸郡田野町１４５６-４２　田野町ふれあいセンター２階

(2)11月2日(水)13：30～15：30
・「職場の腰痛対策」　講師：当センター相談員　門田　義彦　氏
・「メンタルヘルス対策のすすめ方」　講師：当センター相談員　小松　律　氏
　産業医取得単位：生涯専門各１単位
　場所：安芸市矢ノ丸３-１２　安芸市民会館４・５号室

(3)11月16日(水)13：30～15：30
・「職場の腰痛対策」　講師：当センター相談員　門田　義彦　氏
・「メンタルヘルス対策のすすめ方」　講師：当センター相談員　小松　律　氏
　産業医取得単位：生涯専門各１単位
　場所：室戸市領家８７　室戸市保健福祉センターやすらぎ第２、３会議室

☆　研修会・セミナーお申込は６ページ産業保健研修会等受講申込書でお願いします。

三　労働衛生工学シリーズ

「共感力」を高めて衛生管理をすすめましょう

労働衛生工学担当相談員　門田　義彦

　衛生管理を担当する人に求められる資質はなんでしょうか？多くの事柄が求められると思いますが、中でも重要なのは「共感力」だと思います。
　たしかに、問題点を発見する「観察力」や改善をすすめるうえで「実行力」や「リーダーシップ」なども欠かすことはできません。しかし、こういった「観察」や「実行」をすすめるうえで、「共感力」が強いモチベーションとなるはずです。
　「共感力」が大事なのは、衛生の仕事が基本的に人間を対象とするものだからです。人間は、同僚、上司、部下をはじめさまざまな顔を持っています。この人たちが、仕事をするうえで、それぞれどのように感じて仕事をしているか知るのが必要となります。そのためには、「共感力」を働かせることが大事です。
　たとえば、暑さの厳しい作業場で、作業者がどのように感じているかを知ることが、衛生管理をすすめるうえで大事になってきます。もちろんその現場で、実際に作業をしなさいといっているわけではありません。汗を流して働いている人の気持ちを自分に置き換えて感じること、つまり「共感力」を働かせることです。そうすれば見えないものが見えてくるでしょう。暑い中で働くと熱中症にならないまでも、汗が眼に入るとか早く作業を終わらせたいとか感じています。そのため思わぬミスを起こしてしまいます。そういう気持ちを感じて下さい。もしかすると、そこでは実際に働いている人が馴れてしまって、当たり前だと思っていることも見えてくるかもしれません。そのうえで、熱の発生源はどこか？輻射熱を遮断するにはどうすればよいのか？休憩の間隔は？などといった具体的な対策を考えましょう。そうすれば、現場の実態にあった対策を策定することができますし、対策をやりとげる力になります。
　職場巡視など衛生管理をすすめる際には、ぜひ「共感力」を働かせてみて下さい。

四　メンタルヘルス対策支援センターだより（厚生労働省委託事業）

「もう他人事ではない・・・」「どのように進めていけばいいのか、わからない・・・」

　就労に伴う疲労、ストレスの増加、その他作業に関連した疾患の問題が増加するにつれメンタルヘルス対策に取り組もうとする事業場からそんな声がたくさん聞かれます。
　メンタルヘルス対策支援センターではそんな事業場の声に応えるために、促進員が個々の事業場に出向き、事業場内体制の整備、労働者等へのメンタルヘルスについての啓発など、労働者の心の健康の保持促進を図ることを目的とし２１年度から個別支援を無料で行ってきております。
　当初は一人の促進員が県下の事業所を個別訪問、支援活動をしておりましたが、近年、メンタルヘルス上の理由による事業場からの相談や支援依頼が増え続け、社会問題となっていることから促進員の数も増え、５人の促進員で活動しております。
　事業所からの
　・職場ごとの問題点、要望事項等を把握でき有効な活動につなげることが出来た
　・メンタルヘルス対策への社内の意識が大きく向上した。などなど
喜びの声をいただくことが多くなり、それを励みに残暑の中、促進員が現在も県下を駆け回っております。

　企業内のメンタルヘルス推進担当者が産業保健推進センターなどの研修を通じて、(メンタルヘル

スの知識を活用する能力）を向上することを目標にし、専門的なアドバイスや管理監督者研修なども実施しておりますので是非ご利用ください。

【注】「新成長戦略」によりますと 2020 年までに「メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合 100%」にすることが、昨年 6 月 18 日閣議決定されました。

下記の【お問合わせ先】のＴＥＬ・ＦＡＸ及びＥメールは、メンタルヘルス対策支援センター専用番号です。お気軽にお問合わせ下さい。

【お問合わせ先】
メンタルヘルス対策支援センター（高知産業保健推進センター内）
〒７８０－０８７０　高知市本町４丁目１番８号　高知フコク生命ビル７階
ＴＥＬ・ＦＡＸ：０８８－８５５－３０６１　　Ｅメール：mental@kochisanpo.jp

五　産業保健に関する相談のご案内

各分野の専門の相談員が、産業保健に関するご相談・お問い合わせ等について応じます。
相談方法は、センターに直接来ていただくか、又は電話、ＦＡＸ、メールでも対応しています。
また、相談内容等により必要と判断する時は直接現地に出向き具体的な対処法等をご提案します。
下記「産業保健相談員勤務表」に記載はありませんが、労働衛生関係法令分野のご相談についても応じます。
なお、相談料は無料となっていますのでお気軽にご相談ください。

【相談事例】
質問：アスベスト含有しているスレートボード造りの倉庫に長時間保管されていた荷物(段ボール箱)について、表面にほこりがたくさん付着しているが、どうすればよいか。

回答：表面に付着しているほこりが、アスベストであるか、どの程度であるか不明であるが、一般的に、ほこりを再飛散されないように、しめらせたウェス等でふきとること、服につけないようにすること、防じんマスクをできればつけること、ふき取ったウェスは袋に密閉して処理すること。

産業保健相談員勤務表

平成２３年１０月１日現在

	月	火	水	木	金
第一	小松(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)		槇本(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)		影山(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)
第二	小松(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)		下寺(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)(注 1)		町田(産業医学) 影山(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)
第三		森木(産業医学)	槇本(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)	門田(労働衛生工学)	伊藤(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)
第四	影山(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)	菅沼(産業医学)	影山(ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ)		小澤(保健指導)

※　相談時間は、13:00～17:00 です。　(注 1)については 9:00～12：00 です。

独立行政法人労働者健康福祉機構　高知産業保健推進センター
〒７８０－０８７０　高知市本町 4-1-8　高知フコク生命ビル７階
ＴＥＬ：０８８－８２６－６１５５　ＦＡＸ：０８８－８２６－６１５１
ホームページ：http://www.kochisanpo.jp/　Ｅメール：info@kochisanpo.jp

申込書等に記載いただいた個人情報は、メールマガジンの配信、アンケート調査、各種お知らせ等に利用させていただき、当センターが実施する産業保健推進に関すること以外には使用いたしません。